

第2号様式（第8関係）

その1（県内業者用）

工 事 経 歴 書

（工事種別）

発注者名	工事名	工事場所のある都道府県名	請負代金の額		着工年月 年 月	完成(予定) 年 月	公共・民間の別	
			元請の場合	下請の場合			公	民
					年 月	年 月	公	民
					年 月	年 月	公	民
					年 月	年 月	公	民
					年 月	年 月	公	民
					年 月	年 月	公	民
					年 月	年 月	公	民

記載上の注意

- 1 希望する工事種別ごとに区分し、別葉に作成すること。
- 2 下請工事については、発注者名の欄に元請業者名を、工事名の欄に下請工事名を記載すること。
- 3 審査基準日の直前2年の各営業年度における完成工事（工事進行基準を採っている場合は未成工事を含む。）について記載すること。
- 4 許可業種に対応した建設工事ごとに、公共元請工事、民間元請工事、民間下請工事、その他少額工事の順に各々小計を伏して記載し、営業年度ごとに当該建設工事の完成工事高の合計を記載すること。
- 5 工事種別ごとに完成工事高に係る集計表を添付すること。

その2 (県外業者用)

工 事 経 歴 書

(工事種別 \_\_\_\_\_ )

発注者名	元請又は 下請の別	工 事 名	工事場所のあ る都道府県名	請負代金の額	着 工 年 月	完成(予定)年月
				千円	年 月	年 月

記載上の注意

- 1 希望する工事種別ごとに区分し、別葉に作成すること。
- 2 下請工事については、発注者名の欄に元請業者名を、工事名の欄に下請工事名を記載すること。
- 3 審査基準日の直前2年の各営業年度における主な完成工事及び着手した未成工事について記載すること（1年間に20件程度記載すること。）。  
 なお、努めて、福島県内で施工した工事を記載すること。